

平成 26 年度芝雄会総会 議事録

平成 26 年 5 月 17 日実施
記録：広報部副部長 藤田鋭志
修正：総務部副部長 武永翔

※本議事録における個人名は全て敬称を省略しております。

● 進行

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 出席者自己紹介
- 5 議長選出
- 6 議事
 - (ア) 平成 25 年度事業報告
 - (イ) 平成 25 年度決算・監査報告
 - (ウ) 役員改選
 - (エ) 平成 26 年度事業計画 (案)
 - (オ) 平成 26 年度予算 (案)
- 7 その他
- 8 閉会

● 議事録

- 1, 開会
芝浦工業大学中学高等学校 カフェテリアにて
平成 26 年 5 月 17 日 (土) 17 時 00 分開始
- 2, 現会長挨拶 (豊田)
- 3, 学校長挨拶 (大坪)
- 4, 自己紹介 (発表順)
 - 豊田 尚之
 - 池澤 喜市
 - 鬼沢
 - 椎名
 - 清谷 尚充
 - 大和田 尚司
 - 岡田 元宏

山田 直輝
入島 礼旺
藤田 鋭志
武永 翔
平山 義活
伊藤 遥紀
本多 隼也
菊池 瞬
吉田 諒
川村 泰彬
糠沢 努
佐藤 太貴
長谷川 駿
大坪 隆明
(遅刻して参加)
小林 優多郎

5, 議長選出
立候補者がいなかったため、長谷川駿より川村泰彬を推薦。満場一致で承認。

6, 議事

(ア) 平成25年度事業報告(吉田)

(イ) 平成25年度決算・監査報告(佐藤)

○ 質疑応答

・ 卒業生からの会費収入は何人分なのか(椎名)

→現在把握していないので、次回以降の常任幹事会で調査結果を明らかにする。

(佐藤)

→その後250名程度と判明(佐藤)

・ 芝生祭助成金に関する細則についてはどうなったのか(椎名)

→状況が変化しているため、本年度は見送り次年度以降改めて検討する。尚、本年度については申し送り事項として芝生祭実行員会へ意向を伝える。(藤田)

(ウ) 役員改選(豊田)

○ 補足

・ 資料に掲載されている広報部大島(55回生)は、多忙により退会希望があった。

引き止めについては検討中。(小林)

(エ) 平成26年度事業計画案

◎ 事業部(吉田)

○ 訂正

- ・ 第 60 回芝生祭⇒第 59 回芝生祭
- ・ 2015 年 9 月下旬⇒2014 年 9 月下旬 (吉田)

○ 質疑応答

- ・ 芝生祭の出展とは何をしているのか (本多)
- 本年度の出展内容に関しては次回以降の常任幹事会で内容を決定する。(吉田)
- 学校補助及び学校や芝雄会の紹介を行う事が当初の目的である。(豊田)

◎ 広報部 (小林)

- ・ 事業計画として、芝雄会員の増員を含めた勧誘活動を行っていただきたい。また、総会への一般会員の出席率が低いと思う。明瞭な運営であることを広く知って頂くためにも、多くの一般会員が出席してもらえるよう呼びかけてもらいたい。(椎名)

→総会出席の啓発等は次年度以降行っていきたい。(佐藤)

◎ 総務部 (長谷川)

○ 質疑応答

- ・ 校歌 CD の制作は学校がすべきことではないのか(本多)
- 本年度も制作するか否かについては今後の常任幹事会で決定したい。(川村)
- 当初は湯のみを卒業時に配布していたが、より実用的な物をとということで入学時に校歌 CD を配布することにした。この時に 1000 枚作ったものを例年配布していたが、本年度分で在庫がなくなった。今後追加制作するかどうするかを熟考せねばならない。本校の校歌は移転等により現在 4 つあり、それらを歴史として残しておくのも選択肢ではあると思う。(豊田)

○ 以下、校歌 CD に関して議論を行う。

- ・ ホームページからのダウンロード+希望者には手制作で配布でも良いのではないか。(小林)
- ・ 新旧卒業生を繋ぐものは校歌しかないのではないか(椎名)
- ・ 記念品を渡す事はいいと思うが、校歌 CD である必要は無いと思う。(本多)
- ・ 配布対象に関する議論はあるものの、校歌 CD 自体は思い出になると思う。(豊田)
- ・ 新入生への配布に関しては 2014 年度入学生をもって終了とするが、校歌 CD の制作については継続して審議する。(議長提案)

(オ) 平成 26 年度予算案 (佐藤)

7, その他

◎校舎移転等を踏まえた学校の近状の報告 (大坪)

- 入学について：今年度学校案内 P44 参照。
 - ・ 偏差値は上昇、受験者数も毎年向上している。
- 卒業後の進学に関して：今年度学校案内 P34 参照。
 - ・ 大学進学者数は 9 割 (内部進学者は 4 割)。

- ・ 東大合格者は出なかったが、進学先のレベルは全体的に上昇傾向。
- 豊洲移転に関して：今年度学校案内 P 20 参照。
 - ・ 2013 年 3 月に東京電力から土地を購入、2014 年 5 月に基本設計契約を行い、現在詳細設計を行っている。
 - ・ 本来は商業用地であり、市街化計画の変更手続き等を 1 年に渡り行ってきた。
 - ・ 新校舎には校史をまとめる用の、同窓会でも使える部屋を用意する予定。
 - ・ 最先端の技術を駆使するのではなく、学校教育にあった設備を用意する。
 - ・ 景観の制約等により一般公開用のテクノロジーギャラリーを 1 階に設置し、大学と連携して技術作品等を展示する。鉄道中学校の歴史もあることから鉄道関連のものを展示する予定。
 - ・ 敷地面積は 1450 平米。
 - ・ 着工は年内の予定。
 - ・ 移転後どのような教育方針で行っていくかは、現状を改めて見直していく。
 - ・ 代表的な校舎周辺の木は可能な限り移植を検討している。
 - ・ 卒業生向けに板橋校舎のお別れセレモニーを芝雄会に主催してもらいたい。

移転を機に重要になってくるのは、以下の 3 点である。

① 校名の変更

「芝浦工業大学豊洲中学高等学校」「芝浦工業大学附属中学高等学校」等の案が挙がっている。校名変更にあたっては同窓会の同意を求めることを都より勧められており、臨時総会を開会する場合もある。※「付属」「附属」の表記の違いは法律による既定は私学にはない。

② 女子クラスの開設

高校入学のみ女子クラスを 1 クラス設置する。芝浦工業大学への進学を念頭に置き、「理系女子」「工学女子」の育成を法人全体としておこなうべく検討している。本年度中に法人理事会で検討する予定。

※男女別学

③ 「校章」「制服」「校歌」の変更

“” は法人全体で廃止されたことから、移転を期に新しいロゴを作りたいと考えている。また、女子の入学やロゴの作成に伴い制服も変更になる可能性が高い。校歌の変更は検討していない。

○ 質疑応答

- ・ 改革したいのであれば、移転を機に改名してもいいと思う。育英高校から芝浦工業大学高等学校に改名する際には校名のシンプルさを考え「附属」を省いた。柏を設置した際に「芝浦工業大学柏中高」としたのは板橋校とは違う新しいイメージにするためである。(椎名)
- ・ 校名等の変更に関する意見を集めると同時に、同窓会員の増加に繋げて行けたらと思う。(本多)
- ・ 鉄道中学の 100 周年であり、芝浦工業大学の 100 周年ではないことを念頭に

おいてほしい。(椎名)

- ・ 新校舎の設備充実と共に板橋校舎との別れをどうしていくか、新しい学校の方向性に対する意見など、広く同窓生に呼びかけていきたい。(豊田)
- ・ 新校舎の校名が年度内に理事会で議論されるのであれば、同窓会でも早急に議論すべきであると思う。(椎名)
- ・ 校名に関する意見会として臨時総会の実施や往復はがきでのアンケート調査などを検討したい。(豊田)
- ・ 新校名なども踏まえながら「板橋校舎卒業式」といった形で、同窓生や過去の教職員を呼び、盛大にやりたい。(豊田・本多)
- ・ お別れ式に関しては、学校として行うべきものであるなので、同窓会と協力の下行っていきたい。
※校名の決定は同窓会で行うものではない。(大坪)
- ・ 池袋校舎の跡地の一角に記念碑を設置してあるが、板橋にも残せるのであれば行って頂きたい。(豊田)
- ・ 「芝浦工業大学高等学校」命名当時「付(附)属」が付けられなかったのは、大学への推薦制度が無かったことや、独自性を考えたから。(椎名)

○ 同窓生とのやり取りは芝雄会が行う。

◎ 還暦同窓会について(豊田)

- ・ 来年度還暦を迎える学年から大和田先生に連絡が来ている。当該学年は今までも同窓会(サンマル会)を開催してきたが、還暦という節目の年に学校で行ってもらいたい。
- ・ 学校で行う事に伴う制約(日時や喫煙等)についても前向きに検討していただけることになっている。
- ・ 10~11月で学校の都合の良い日に実施したい。
- ・ 芝雄会としても広報活動に繋がると考えており、実施の方向で調整したい。
- ・ 芝雄会への補助の要請もあり、成人式と同じように芝雄会が運営したいと考えている。費用に関しては、還暦ということもあり参加者から会費の徴収は行うが、芝雄会費で運営していく。

○ 補足

- ・ 当該学年の方々は既に準備を始めており、運営には概ね支障がないと考えられる。(大和田)

◎ その他

学校へ寄付して頂いた方の名前を学校 HP 等に掲載していただかないと、寄付した方が不審感を抱きかねないのでお願いしたい。(椎名)

8, 閉会

平成26年5月17日(土)19時30分頃終了